

MODE MASTER SCHOOL

設定調整②

～主力機種の設定調整～

○主力機種は必要？

☆主力機種（自店舗内で主力と定めている機種）

【主力機種の定義】

長期（1年以上）の運用を大前提とした多台数機種。

多台数＝設置総台数の10%程度、又は設置台数の多い稼働上位機種

設置台数の多い主力機

ジャグラーシリーズ、沖スロ系、ゴッドシリーズ、北斗シリーズ、番長、バジリスクなど

まずは、店舗の中で主力と呼べる機種が存在するのか？

○よっぽど総台数が少ない場合を除いては主力を作る！

主力機種があると稼働・売上面の強化の中心にする事が出来る。

メリット：①多台数の主力機がある事で、設定が使いやすい、出玉の塊を作りやすい。

②ホール側のやる気・出玉をアピールしやすくなる。

③多台数の設置なら集客力がアップ。

デメリット：①主力機に設定の偏りが出てしまう。他機種への高設定投入頻度が低下。

②出玉・割数でマイナスが出過ぎた場合、営業計画に大きく影響が出る。

③主力機の稼働が低下することで、店舗全体のイメージ・平均稼働が低下。

○主力機種は作らず、全体的にバランス良く設置する！

敢えて主力機種を作らない理由をはっきりとさせる必要がある。

メリット：①どの機種も少台数刻みななので、新台入替の負担が少ない。

②設置できる機種数・ユーザーの選択肢も増え、対応可能な客層の幅が広がる。

③少台数の機種であれば、高設定をまとめて投入しやすくなる。

デメリット：①出玉面でも設定でも特定の機種を強くアピールしづらくなる。

②同じ設置機種なら、多台数設置の競合店より集客力が弱い。

○ジャグラーシリーズを学ぶ

☆スペックごとにどんな違いや特徴があるのか？

ジャグラーといっても千差万別。微妙な違いにこだわる中高年層は非常に多い。

それぞれの特徴を把握した上で、自店の客層に合ったジャグラーシリーズを強化する。

【ロースペック】

- ・アイムジャグラーEX
- ・アイムジャグラー7
- ・アイムジャグラーSP
- ・アイムジャグラーAPEX
- ・ニューアイムジャグラーEX
- ・ニューアイムジャグラーEX-KK

★特徴★

ロースペックのアイム系ジャグラーは、設定⑥でもBIG確率が1/260以下となり出玉率も低く抑えられている特徴がある。アイムシリーズは、ほぼ同様の出玉率・ボーナス確率の設計がされており、実績データも同様の数値が多く見られる。

【ミドルスペック】

- ・ラブリージャグラー
- ・ジャンキージャグラー
- ・クラシックジャグラー
- ・ハッピージャグラーV
- ・ミラクルジャグラー
- ・ジャグラーガールズ
- ・ハッピージャグラーVⅡ
- ・ゴーゴージャグラー

★特徴★

ミドルスペックのジャグラーでは、出玉性能とボーナス確率がロースペックとハイスペックの間に位置し、客層も中高年中心の機種から若年層に好まれる機種まで幅広い。告知や仕様の違いも幅広く、ユーザーの好みに合わせて楽しめるスペックでもある。

【ハイスペック】

- ・マイジャグラー
- ・マイジャグラーⅡ
- ・みんなのジャグラー
- ・マイジャグラーⅡKK
- ・マイジャグラーⅢ

★特徴★

ハイスペックのジャグラーは、設定⑥のボーナス合成確率が約1/120と非常に当たりやすくなっており、尚且つ実績の出玉率でも110%近く出ている、出玉優先のユーザー向けジャグラーだと言える。

遊技する客層の年代も全ジャグラーシリーズ中で一番若いと見られる。

○ジャグラーの設定調整

☆特徴を知る

ジャグラーと言っても、その特徴は様々。スペックで分類する以外にも、告知タイミング、告知パターン、プレミアなど、様々なポイントで独自の分類をしても良いので、まずは各ジャグラーの特徴を把握した上で、設定調整に生かす。

☆設定別の実績

設定毎の出玉率実績を確認する ⇒ 各設定の稼働差を確認 ⇒ 使用する設定によって、平均稼働に大きな違いが出る事があるため、注意する

実績データの見方

例) ニューアトムジャグラーEX ※メイドイン実データ

	発表値	実績値	BB確率	RB確率	稼働実績
設定①	95.9%	96.2%	1/287.4	1/455.1	10900枚
設定②	96.7%	97.1%	1/282.5	1/442.8	11000枚
設定③	98.7%	99.1%	1/282.5	1/348.6	12900枚
設定④	100.8%	101.2%	1/273.1	1/321.3	13600枚
設定⑤	102.8%	103.2%	1/273.1	1/268.6	16000枚
設定⑥	105.2%	105.5%	1/268.6	1/268.6	15500枚

➡稼働実績を見ると設定①と②では大きく変わらない。しかし設定③になると2000枚近い上昇が見られる。また、設定⑤の方が⑥より稼働している点。RB回数が多ければ稼働も良いと言う話でもないと考えられ稼働を考えれば、設定⑥ではなく設定⑤でも十分だと言える。

逆にRB回数が多く上がるがために、中高年層の常連からクレームが入るケースもある。

○ジャグラーの設定調整

☆設定別の実績

実績データの見方

例) マイジャグラーⅢ

※メイドイン実データ

	発表値	実績値	BB確率	RB確率	稼働実績
設定①	95.7%	96.0%	1/287.4	1/431.2	10800枚
設定②	97.9%	98.3%	1/282.5	1/364.1	12470枚
設定③	99.9%	100.4%	1/273.1	1/341.3	12710枚
設定④	102.8%	103.4%	1/264.3	1/292.6	15450枚
設定⑤	105.3%	106.0%	1/252.1	1/277.7	19660枚
設定⑥	109.4%	110.0%	1/240.9	1/240.9	23770枚

➡稼働実績の特徴として、設定①と②の差が約2000枚近くある点の一つ。同時に設定②と③の稼働差がほとんどない事も挙げられる。設定⑤・⑥の稼働はずば抜けて高い為、高設定の使い方次第では平均稼働を上げるポイントにもなる。通常時は設定②をベースとして、設定④⑤⑥をどのくらい使用できるかが、稼働上昇へのポイントとなる。ここぞと言う場面ではきっちりと設定⑤・⑥を投入し、信頼度を上げる作業を続ける。

○沖スロ（30パイ）を学ぶ（1）

☆沖スロコーナーの客層を精査

機種別、男女比、年代層など、沖スロに何を求めて来店しているのか？

5号機時代に入ってから、特に女性客・外国人の姿がよく見られる傾向がある。

また、4号機時代から沖スロファンと言う方も少なくない為、満足出来る出玉が見えている台が無いと、あっという間に店の信頼度は低下してしまう。

自店の沖スロファンが何を目的に来店しているのかを把握し、設定調整にも活かす必要がある。

☆特徴を知る

沖スロと言っても、その機種数はかなりの数。メーカーとしては、パイオニアが一番有名で設置台数も多いが、その他メーカーの沖スロも同時にチェックしておくが良い。

ノーマルタイプの沖スロは、設定が上がるごとに平均稼働も上昇するタイプがほとんど。

設定判別要素も豊富に存在するので、毎日低設定ばかりでは稼働の維持も難しい。

また、沖スロと呼ばれる30パイのコインを使ったタイプの機種は、当然沖縄ではメジャーな機械ではあるが、本土でも愛知県や北関東圏、神奈川県など、沖スロを好んで導入していたエリアは多岐にわたる。現在でも、沖スロの設置が多い都道府県は昔からの流れがある。

☆出玉性能

沖スロの出玉性能と言う意味で沖ドキを除けば、いわゆるノーマルタイプなので、25パイのノーマルタイプと同様の出玉性能である。多少の波は付いているが、概ね設定どおりの動きをしてくれるため、操縦はしやすい機種である。高設定を使用しても万枚が出るようなことは基本的にないため、実績データでも最大で8000枚程度が限度である。

○沖スロ（30パイ）を学ぶ（2）

☆設定別の実績

設定毎の稼働実績差を確認する。ノーマルタイプの沖スロは、設定が上がるごとに平均稼働も上昇する。設定判別要素も存在するので、毎日低設定ばかりでは稼働の維持も難しい。各設定毎に集計した稼働差を確認 → 使用設定で平均稼働に大きな違いが出る。

例) ニューキングハナハナー30 ※メイドイン実データ

出玉率	発表値	実績値	稼働実績
設定①	96.0%	95.7%	8969枚
設定②	98.0%	97.2%	12068枚
設定③	101.0%	99.8%	15160枚
設定④	104.0%	102.4%	17627枚
設定⑤	107.0%	105.8%	21833枚
設定⑥	112.0%	110.2%	23248枚



パイオニア
ニューキングハナハナ30

➡ニューキングハナハナ30の特徴の一つとして、設定毎の稼働実績がある。設定①と⑥の稼働差が2倍以上。その他設定も設定が上がる毎に稼働も連動。ボーナス確率などからも低設定と見切りを付けられた時点で、即稼働しなくなる豊富な知識を持ったユーザーも多いと考えられるため、低設定を使用する場合は特に気を使って調整に臨む。

【point】

設定毎に稼働が上昇するノーマルタイプの沖スロは、上位の設定を使う前提で運営を続けなければ、その恩恵はあまり実感する事はできない。

粗利確保を優先させる方針であれば、導入するメリットはほとんど無いと考える。

○沖スロ（30パイ）の設定調整

☆沖ドキの設定調整

唯一のAT機である沖ドキに関しては、沖スロの中でも特殊な位置づけ。ノーマルタイプではない分、設定判別が難しく設定毎の稼働実績もバラバラで、設定にこだわらない又は設定判別が困難な客層が中心の機種であるとも言える。設定⑥の実績出玉率もAT機としては低く、ユーザー側も高設定と思って打っていない可能性が高い。しかし、沖ドキの使い方によっては、店舗全体の稼働アップを目指せる力を持つ認定切れまで使い切るべき名機。

例) 沖ドキ-30 ※メイドイン実データ

出玉率	発表値	実績値	稼働実績
設定①	97.0%	96.3%	15127枚
設定②	99.7%	98.5%	12215枚
設定③	101.7%	100.9%	17381枚
設定④	103.9%	103.6%	15641枚
設定⑤	106.2%	105.6%	17317枚
設定⑥	107.9%	107.1%	19010枚



アクロス
沖ドキ-30

【point】

沖ドキの設定調整は、極端な上下振りが比較的効果的である。高稼働していればいるほど、①をベースに⑤・⑥を投入すると良い。沖ドキの稼働が10,000枚を切っている場合は、可能な限り設定③をベースとして使用しつつ、月に数回程度⑤・⑥の投入があると徐々に稼働にも影響が出てくる。利益確保優先の場合はオール①の状態でも構わない。但し、毎日リセットをかけて、チャンスモード狙いの朝一集客につなげる必要がある。

ハナハナなどのノーマルタイプの沖スロと併設の場合は、ノーマルタイプを優先する。

ノーマルタイプの沖スロが高稼働してしまえば、沖ドキの相乗効果も十分期待できる。

○沖スロ（ノーマルタイプ）の運営成功例

☆沖スロの設定調整 稼働上昇成功例1 立地条件：関東近郊 郊外店

・新規導入からの運営（初めて沖スロを導入したケース）

設定3・4・5をメインに3ヶ月間は赤字運営 粗利率平均**-10%**

4ヶ月目からの3ヶ月間は粗利ほぼ**0～5%**→稼働18000枚を維持

高稼働を維持しつつ、4ヶ月目ごろから設定も徐々に下げてゆく

最終的には2・3がメインで、粗利率も5%程度を維持し、設定1は1度も使用していない

沖スロだけは、別予算・計画を立てる必要があるが、半年以降も高稼働を維持しつつ薄利で

運営し、3年以上の設置を目指す＝利益貢献度は低いものの、稼働貢献度は抜群

・既存設置からの運営（元々沖スロが設置されていたケース） 立地条件：中部近郊 郊外店

設定3・4・5をメインに1ヶ月間は赤字運営 粗利率平均**-20%**

2ヶ月目からの3ヶ月間は粗利ほぼ0%→**完全稼働重視**

稼働を維持しつつ、設定も徐々に下げていき、最終的には**3がメイン**で、粗利率も**0～5%**

程度を維持した。

元々の店舗平均稼働が低ければ、沖スロで高稼働を目指すのは正直難しいところだが、沖ス

ロだけは、別予算・計画を立てる必要がある。最終的な目標は、店舗平均以上の稼働と長期

にわたる設置であり、**粗利確保の為**なら沖スロ導入は無意味。

【point】

基本的には初期の赤字営業をどれだけ続けるかが重要になってくるが、徐々に割を抑える工程が最も難しく重要な期間になる。急激な割の抑え方をしてしまうと、一気に稼働が低下してしまう。

最終的に稼働最優先の方針を崩さず、他の機種で目標粗利の確保が出来るかどうか？考えたい。

○主力機種の設定調整は？（１）

☆主力機種中心の設定の組み立て

目標の粗利額に対して、主力機種への配分を最優先とする。

主力機種にどれくらいの設定を使いたいのか？

使いたい設定を投入した場合の稼働・出玉率・割数・売上・粗利などの数値を出す。

主力機種だけでも自店・自社のデータを集計しておくで流用しやすい。

どのくらいの割数（放出）であれば、稼働の維持・アップを狙えるのか？

無駄な赤字は必要なし。理想は出玉率100%でフル稼働。

主力機の設定シミュレーションから、月間の目標粗利を割り振るパターンもあり。

設定別の出玉率・稼働実績を出しておけば、稼働維持・アップの基準となる。

競合店と比較した場合、ボーナス回数や出玉で圧倒出来るかどうか？

対象とする主力機だけでも圧倒的な稼働・出玉・ボーナス回数をアピールできるような出玉・設定調整計画が必要。とは言え、毎日放出できるわけではない為、競合店が一番苦しい状況のタイミングで放出をかけるのが理想。

放出タイミング例

・競合店の特定日前日・翌日

又は、すでに稼働面で圧倒している場合は、敢えて特定日に放出をぶつける事で競合店の集客力を徐々に削ってゆく。

・土日祝日のような、集客しやすい日

競合店が粗利を確保したいタイミングで放出をかける事で、大きなダメージを与える事が可能になる。但し、放出の為の予算を事前にしっかりと確保する必要があるので簡単には出来ないが、特に2月・10月・11月などの時節的に稼働が弱い月などで実施する事で、より一層の効果が生まれる場合がある。

○主力機種の設定調整は？（2）

☆主力機種の設定調整例

※出玉率100%目標

【ニューアイムジャグラーEX1】

機種名	ニューアイムジャグラーEX2									
	台数	稼働実績	総IN	出玉率実績	総OUT	差玉	合計差玉	特賞確率	特賞回数	合計
設定①	3	10765	32295	96.20%	31068	409	1227	176.2	20.4	61.1
設定②	2	10951	21902	97.10%	21267	318	635	172.5	21.2	42.3
設定③	0	12853	0	99.00%	0	129	0	156.0	27.5	0.0
設定④	3	13690	41070	101.20%	41563	-164	-493	144.6	31.6	94.7
設定⑤	1	16114	16114	103.20%	16630	-516	-516	135.4	39.7	39.7
設定⑥	1	15373	15373	105.40%	16203	-830	-830	134.3	38.2	38.2
										275.9
	10	12675	126754		126730		24		合計出玉率	粗利額
									99.98%	¥475

こちらは高設定をふんだんに使用する為、設定①も投入しバランスをとっている。こちらは高設定を多用している分、ベースの①②のボーナス確率が足を引っ張っている。出玉演出はしやすいが・・・

ボーナス回数合計
275.9回

【ニューアイムジャグラーEX2】

機種名	ニューアイムジャグラーEX									
	台数	稼働実績	総IN	出玉率実績	総OUT	差玉	合計差玉	特賞確率	特賞回数	合計
設定①	0	10765	0	96.20%	0	409	0	176.2	20.4	0.0
設定②	0	10951	0	97.10%	0	318	0	172.5	21.2	0.0
設定③	8	12853	102824	99.00%	101796	129	1028	156.0	27.5	219.7
設定④	0	13690	0	101.20%	0	-164	0	144.6	31.6	0.0
設定⑤	2	16114	32228	103.20%	33259	-516	-1031	135.4	39.7	79.3
設定⑥	0	15373	0	105.40%	0	-830	0	134.3	38.2	0.0
										299.0
	10	13505	135052		135055		-3		合計出玉率	粗利額
									100.00%	¥-61

使用設定のベースを3にしている。

同じ稼働と想定した時に、使用設定毎のボーナス回数を計算した。
その場合こちらの組み合わせの方が約23回多く出現する。

ボーナス回数合計
299.0回

○主力機種の設定調整は？（3）

☆主力機種の設定調整例

※出玉率100%目標

【バジリスク絆1】

機種名	バジリスク絆1									
	台数	稼働実績	総IN	出玉率実績	総OUT	差玉	合計差玉	AT確率	特賞回数	合計
設定①	5	12777	63885	97.22%	62109	355	1776	441.3	9.7	48.3
設定②	3	15722	47166	98.40%	46411	252	755	377.9	13.9	41.6
設定③	0	13325	0	101.61%	0	-215	0	403.4	11.0	0.0
設定④	2	20083	40166	106.21%	42660	-1247	-2494	303.9	22.0	44.1
設定⑤	0	20539	0	109.99%	0	-2052	0	343.1	20.0	0.0
設定⑥	0	24236	0	118.63%	0	-4515	0	245.1	33.0	0.0
										133.9
	10	15122	151217		151181		36		合計出玉率	粗利額
									99.98%	¥727

設定のベースを①と②で組み、出玉面では設定④を2台。

通常時の営業としては十分な配分と言えるが、ボーナス回数と稼働・利益の面を考えると効率はあまり良くない。

ボーナス回数合計
133.9回

【バジリスク絆2】

機種名	バジリスク絆2									
	台数	稼働実績	総IN	出玉率実績	総OUT	差玉	合計差玉	AT確率	特賞回数	合計
設定①	0	12777	0	97.22%	0	355	0	441.3	9.7	0.0
設定②	8	15722	125776	98.40%	123764	252	2012	377.9	13.9	110.9
設定③	0	13325	0	101.61%	0	-215	0	403.4	11.0	0.0
設定④	2	20083	40166	106.21%	42660	-1247	-2494	303.9	22.0	44.1
設定⑤	0	20539	0	109.99%	0	-2052	0	343.1	20.0	0.0
設定⑥	0	24236	0	118.63%	0	-4515	0	245.1	33.0	0.0
										155.0
	10	16594	165942		166424		-482		合計出玉率	粗利額
									100.29%	¥-9,638

こちらは設定②をベースにして設定④を同じく2台で出玉演出を行う。
但し、上記配分よりも±10,000円程度のマイナス粗利だが、稼働で約1,500枚、特賞回数でも20回以上多く、効率の良い投資と言える。

ボーナス回数合計
155.0回

○主力機種の設定調整は？（４）

☆主力機種の設定調整例

※出玉率100%目標

【聖闘士星矢 海皇覚醒1】

機種名	聖闘士星矢 海皇覚醒1									
	台数	稼働実績	総IN	出玉率実績	総OUT	差玉	合計差玉	AT確率	特賞回数	合計
設定①	7	15352	107464	97.38%	104648	402	2816	1311.0	3.9	27.3
設定②	1	17123	17123	98.57%	16878	245	245	1264.0	4.5	4.5
設定③	0	20601	0	99.70%	0	62	0	1137.0	6.0	0.0
設定④	0	21155	0	103.13%	0	-662	0	981.0	7.2	0.0
設定⑤	1	21261	21261	105.63%	22458	-1197	-1197	769.0	9.2	9.2
設定⑥	1	23824	23824	108.36%	25816	-1992	-1992	683.0	11.6	11.6
										52.7
	10	16967	169672		169800		-128		合計出玉率	粗利額
									100.08%	¥-2,565

設定①をベースに設定⑤⑥を投入し、大きな差玉を見せる配分。この場合、稼働・特賞回数の面でどうしても設定①の影響を受けてしまう。高稼働する日でない場合は、この配分は見送るべき。

ART回数合計 **52.7回**

【聖闘士星矢 海皇覚醒2】

機種名	聖闘士星矢 海皇覚醒2									
	台数	稼働実績	総IN	出玉率実績	総OUT	差玉	合計差玉	AT確率	特賞回数	合計
設定①	0	15352	0	97.38%	0	402	0	1311.0	3.9	0.0
設定②	5	17123	85615	98.57%	84391	245	1224	1264.0	4.5	22.6
設定③	3	20601	61803	99.70%	61618	62	185	1137.0	6.0	18.1
設定④	2	21155	42310	103.13%	43634	-662	-1324	981.0	7.2	14.4
設定⑤	0	21261	0	105.63%	0	-1197	0	769.0	9.2	0.0
設定⑥	0	23824	0	108.36%	0	-1992	0	683.0	11.6	0.0
										55.1
	10	18973	189728		189643		85		合計出玉率	粗利額
									99.95%	¥1,708

ART回数合計 **55.1回**

聖闘士星矢 海皇覚醒の場合、元々ART確率が非常に重いため、設定配分が変わっても大きくART回数は変動しない。しかし1回のARTが他の機種と比較にならないほど重みをもつため、たとえ数回でもART当選回数を増やすことで、聖矢ユーザーにはプラスの印象を与えることができる。調整では、中間設定をベースに組んでやることで、稼働・ART回数共に全体的なアップを図れる。